

早稲田祭 2011

11月5日(土)

出展予告

出演者:

早稲田大学 安藤 紘平 教授 (早稲田大学理工 OB)

JAXA 廣瀬 和之 准教授 (早稲田大学理工 OB)

まち塾@まちライブラリー提唱者 磯井純充氏

(森記念財団在籍)

他

1. 企画名 「サイエンス まち ライブラリー」

～早稲田の森からお届けする一冊の本～

【場所】早稲田キャンパス 11号館 504教室

【時間】11月5日(土) 14:15～15:15

【内容】

本企画は理工系分野で活躍されている方々をお招きし、理科系に進むきっかけとなった若いころに読んだ「本」の内容を紹介していただきます。宇宙航空を専門としている方、映画監督をされている方などの話を聞くことができます。あなたの将来の進路を選ぶにあたっての有意義な話を聞ききっかけになるかもしれません。

【企画研究室】田村傑研究室

2. 研究室紹介

私たちの研究室では、技術シーズが製品化に至る上で、どのような制約要因があり、またどのような解決手段があるかについての知見を深めています。また、知財・標準化といった新たな学術領域において、技術革新への影響の解明を目的とした研究を行っています。

Members:

早稲田大学 理工学学術院 田村傑研究室

田村 傑 *Prof. Suguru TAMURA*

【tamura@y.aoni.waseda.jp】

根本 龍也 *Mr. Tatsuya NEMOTO*

鈕 已青 *Ms. Yiqing NIU*

岡野 琢也 *Mr. Takuya OKANO*

(2011年10月1日現在)



出演者：



安藤 紘平（あんどう・こうへい）

早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授

1968年、早稲田大学工学部卒業。同年 TBS 入社、事業局・メディア推進局 局次長などを経て、2004年退職。2003年、早稲田大学客員教授を経て、2004年から現職。日本映画監督協会理事。大学在学中から劇団天井桟敷に所属、映像作家として活動。1970年、電子映像を使った日本初のフィルム『オー・マイ・マザー』でオーバーハウゼン国際短編映画祭入選、同作品は米国ゲッティ美術館、横浜美術館などに収蔵。1994年、ハイビジョン撮影を 35 ミリフィルムに変換した『アインシュタインは黄昏の向こうからやってくる』で、ハワイ国際映画祭銀賞特別賞、国際エレクトロニックシネマフェスティバル・アストロラビウム賞を受賞。その他、作品、受賞歴多数。デジタル、ハイビジョンに先鞭をつけた映画作家として世界的に著名であり、2001年にはパリで安藤紘平回顧展が開催された。

JAXA

廣瀬 和之 HIROSE Kazuyuki 准教授

学位 工学博士（早稲田大学、1990年）

専門分野 半導体工学、固体物理

研究テーマ

人工衛星搭載用の電子機器の信頼性に関する事。内容は、高温環境や放射線環境でも正常に動作する半導体デバイスの開発およびその劣化機構の研究。主に半導体デバイスの動作において中心的な役割を果たす金属や酸化膜と半導体とが接触する界面の、原子構造ならびに電子状態を各種実験手法あるいは第一原理計算を用いて明らかにすることを目的としている。また、このような基礎物理の探求と同時に、人工衛星に搭載可能な半導体デバイスの開発を目指している。現在は宇宙用 SOI デバイスの開発を進めている

磯井 純充 (Yoshimitsu Isoi) プロフィール



「まち塾@まちライブラリー」提唱者

- 1958年 4月4日、大阪府中央区内平野町生まれ。根っからの関西人。
- 1981年 中央大学卒業後、森ビル(株)入社。2年目より広報と森泰吉郎前社長の秘書を業務とする。
- 1986年 再開発の現場へ。六本木再開発の立ち上げを担当する。
- 1987年 29歳の時に、文化事業(教育事業)へ異動し、故・森泰吉郎社長の実験的「アーク塾」を開催し、翌年1988年に「アーク都市塾」として立ち上げる。
- 1993年 森泰吉郎氏逝去 「アーク都市塾」の継続。
- 1996年 赤坂アカデミーヒルズ立ち上げ、その後、森ビル所有ビル全域をインターネット化(MII事業)、インキュベーションオフィス、メディアセンター設置、ソフトバンクと合弁会社「CM ネット」、日経新聞と合弁会社「イーヒルズ」等、次から次へと立ち上げ事業に携わる。
- 2003年 「六本木アカデミーヒルズ」総合事務局長に就任。ライブラリーを中心に六本木アカデミーヒルズ立ち上げに携わる。
- 2005年 アカデミーヒルズを離籍し、社長室広報部長に就任。その後、上海の展望、カンファレンス立ち上げのサポート役を担う。
- 2006年 取締役広報室長に就任。
- 2009年 取締役に就任。森ビルシティエアサービス株式会社取締役副社長へ就任。

2010年(財)森記念財団に出向、個人的に長年に亘り携わってきた教育事業の経験を活かし、「まち塾@まちライブラリー」活動を提唱しはじめる。全国各地に現代版寺子屋「まち塾」とその活動拠点「まちライブラリー」の設置を日々勝手に叫んでいる。

現在は、多くの賛同者の力と供に人と人、人とまちを結び、その応援をパワーに、大阪、東京、和歌山をはじめ、全国、そして世界と結ぶ「まち塾@まちライブラリー」の構想を実行中。

「100のまち、100のものがたり、10000人の元気人」を探し続けている。

<http://www.machjyuku.org>

<https://www.facebook.com/machijyuku>

<http://twitter.com/machijyuku><http://www.mori-m-foundation.or.jp/machi/>